

富山市の地域福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

本市では、平成 31（2019）年 3 月に「富山市地域福祉計画」を策定し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちをめざして、市民協働による共生社会づくりなどの取り組みを進めています。

令和 5（2023）年度末で「富山市地域福祉計画」の期間が満了となることから、令和 6（2024）年度からの新たな計画を策定するため、このたび、地域福祉に関する市民の皆様の考え方や意見を把握し、本市の地域福祉を推進するための貴重な資料とすることを目的に、アンケート調査を実施することとしました。

なお、この調査は、市内在住の 18 歳以上の方の中から無作為に選んだ 3,600 人を対象に実施するものです。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理するため、個人の回答内容が他に漏れたり、統計の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

令和 5 年 7 月

富山市長 藤井 裕久

回答上の留意点

- ◆この調査には、封筒の宛名のご本人がお答えください。
- ◆ご本人のご記入等が困難な場合は、ご家族の方などがご本人のお考えをお聞きいただき、または、ご意向に沿って代理いただき、ご記入等してください。
- ◆質問には、令和 5 年 7 月 1 日現在の状況でお答えください。
- ◆答えたくない質問には答えず、次の質問に進んでください。
- ◆ご記入いただいた調査票を郵送にてご提出いただく場合は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和 5 年 7 月 18 日（火）までにご投函**ください。
- ◆インターネットよりご回答いただく場合は、パソコン、スマートフォンなどで URL または QR コードからログインいただき、**令和 5 年 7 月 18 日（火）までに入力を完了、送信**してください。



URL : <https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/wqEko0bD>

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

◆アンケート調査に関するお問い合わせ先

富山市 福祉保健部 福祉政策課（電話：076-443-2262）

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------|--------|
| (1) 男性 | (2) 女性 |
|--------|--------|

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| (1) 18～29歳 | (2) 30～39歳 | (3) 40～49歳 |
| (4) 50～59歳 | (5) 60～69歳 | (6) 70歳以上 |

問3 あなたのお仕事等はどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|---------------|
| (1) 正規従業員・職員 | (2) 派遣社員 | (3) パート・アルバイト |
| (4) 契約・嘱託社員 | (5) 会社・団体役員 | (6) 自営業主 |
| (7) 家族従事者・内職 | (8) 専業主婦(夫) | (9) 学生・専門学校生 |
| (10) 求職中 | (11) 無職 | (12) その他() |

問4 現在、どの地域にお住まいですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| (1) 富山地域 | (2) 大沢野地域 | (3) 大山地域 | (4) 八尾地域 |
| (5) 婦中地域 | (6) 山田地域 | (7) 細入地域 | |

問5 現在の場所に何年住んでいますか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| (1) 1年未満 | (2) 1～2年 | (3) 3～5年 | (4) 6～10年 |
| (5) 11～20年 | (6) 21年以上 | | |

問6 あなたは、現在の住居で日常、誰と生活していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------|------------|----------|
| (1) 単身 | (2) 配偶者 | (3) 子 |
| (4) 父母 | (5) 祖父母 | (6) 兄弟姉妹 |
| (7) 孫 | (8) その他() | |

問7 近所の人と、ふだんどの程度のつきあいをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| (1) 非常に親しくつきあっている | (2) 親しくつきあっている |
| (3) あいさつをする程度 | (4) つきあいは、ほとんどない |

問8 現在、どのような地域活動等に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| (1) 町内会、自治会等 | (2) P T A | (3) 婦人会・女性部会等 |
| (4) 老人クラブ | (5) 趣味や娯楽のサークル | (6) 参加していない |
| (7) その他(具体的に) | | |

問9 あなたは、ふだんどのような悩みや不安を感じていますか。(○は3つまで)

- | | | |
|------------|---------------|------------------|
| (1) 自分の健康 | (2) 家族の健康 | (3) 自分や家族の生活上の問題 |
| (4) 教育の問題 | (5) 介護の問題 | (6) 経済的問題 |
| (7) 近所との関係 | (8) 仕事・就労の問題 | (9) 子育ての問題 |
| (10) 特にない | (11) その他(具体的に |) |

問10 悩みや不安について、誰(どこ)に相談したいと思いますか。(○は3つまで)

- | | | |
|---------------------|--------------------|------------|
| (1) 家族 | (2) 親族 | (3) 近所の人 |
| (4) 知人・友人 | (5) ネット上の知り合い | (6) 職場の人 |
| (7) 病院・薬局 | (8) 民生・児童委員 | (9) 民間活動団体 |
| (10) 公的な相談機関 | (11) 相談できる人(所)はいない | |
| (12) 相談したいとは思わない(理由 | |) |
| (13) その他(具体的に | |) |

**問11 公的な相談機関として、あなたが知っている所はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)**

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| (1) 市役所・地区センター | (2) 保健所・保健福祉センター |
| (3) 社会福祉協議会 | (4) 子育て支援センター |
| (5) 地域包括支援センター | (6) 障害者相談支援事業所 |
| (7) 職業安定所(ハローワーク) | (8) 法務局 |
| (9) 警察 | (10) 相談ダイヤル・インターネット相談 |
| (11) どこに相談したらよいかわからない | (12) その他(|

問12 あなたが高齢や病気やケガなどで、日常生活が不自由になったとき、地域で何をしてほしいですか。(○は3つまで)

- | | | |
|---------------|-----------------|-------------|
| (1) 安否確認の声かけ | (2) 趣味などの話し相手 | (3) 買い物の代行 |
| (4) ゴミ出し | (5) 短時間の子どもの預かり | (6) 子育ての相談 |
| (7) 掃除 | (8) 除雪や屋根雪下ろし | (9) 外出・移動支援 |
| (10) その他(具体的に | |) |

問13 あなたの地域で、高齢者や障害者、子育て、介護などで困っている世帯があったら、あなたができることは何ですか。(○は3つまで)

- | | | |
|------------------|-----------------|-------------|
| (1) 安否確認の声かけ | (2) 趣味などの話し相手 | (3) 買い物の代行 |
| (4) ゴミ出し | (5) 短時間の子どもの預かり | (6) 子育ての相談 |
| (7) 掃除 | (8) 除雪や屋根雪下ろし | (9) 外出・移動支援 |
| (10) その他(具体的に | |) |
| (11) できることはない(理由 | |) |

問14 あなたは、これまでどのような分野に募金や寄附などをしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 福祉・保健・医療 | (2) 教育・研究 |
| (3) まちづくり・まちおこし | (4) 芸術・文化・スポーツ |
| (5) 自然・環境保全 | (6) 災害援助支援 |
| (7) 子ども・青少年育成 | (8) 人権・平和 |
| (9) 寄附をしたことがない | (10) その他(具体的に) |

問15 この5年間に、ボランティア活動等に参加したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|--------|
| (1) ある | (2) ない |
|--------|--------|

問16 現在、ボランティア活動等に参加していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| (1) 参加している | (2) 参加していないが、いずれ参加したい |
| (3) 参加するつもりはない | |

問16-1 問16で「(1)参加している」と答えた方にお聞きします。

現在、どのようなボランティア活動等に参加していますか。(○は3つまで)

- | |
|---|
| (1) 高齢者関係(友愛訪問、クラブ活動等への協力支援や施設訪問交流など) |
| (2) 障害者関係(手話や車椅子補助等社会参加・生活支援や施設訪問交流など) |
| (3) 子育て関係(託児、育児相談や育児サービスなどの支援や施設訪問交流など) |
| (4) 保健・医療関係(健康教室等の支援・指導、通院支援や病院訪問交流など) |
| (5) 青少年関係(悩み相談や交流、地域子供会活動等による健全育成支援など) |
| (6) 環境関係(自然愛護や美化運動、リサイクル運動など) |
| (7) 自主防災関係(防犯活動、交通安全活動、避難訓練等の防災活動、災害復旧など) |
| (8) その他(具体的に) |

問16-2 問16で「(2)参加していないが、いずれ参加したい」と答えた方にお聞きします。
参加するとしたら、どの分野に参加したいですか。(○は1つ)

- | |
|---|
| (1) 高齢者関係(友愛訪問、クラブ活動等への協力支援や施設訪問交流など) |
| (2) 障害者関係(手話や車椅子補助等社会参加・生活支援や施設訪問交流など) |
| (3) 子育て関係(託児、育児相談や育児サービスなどの支援や施設訪問交流など) |
| (4) 保健・医療関係(健康教室等の支援・指導、通院支援や病院訪問交流など) |
| (5) 青少年関係(悩み相談や交流、地域子供会活動等による健全育成支援など) |
| (6) 環境関係(自然愛護や美化運動、リサイクル運動など) |
| (7) 自主防災関係(防犯活動、交通安全活動、避難訓練等の防災活動、災害復旧など) |
| (8) その他(具体的に) |

問16-3 問16で「(3) 参加するつもりはない」と答えた方にお聞きします。

その理由は何ですか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| (1) 仕事や家事で忙しい | (2) 体が弱い、病気がち |
| (3) 病人や高齢者など家族の世話をしている | (4) どこで活動しているかわからない |
| (5) 一緒に参加してくれる人がいない | (6) 興味がない |
| (7) その他(具体的に |) |

問17 あなたは、地域の人たちが協力して、取り組んでいくことが必要な問題は、何だと思えますか。(〇は2つまで)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| (1) 一人暮らし高齢者や高齢者世帯への支援 | (2) 子育て家庭への支援 |
| (3) 障害者への支援 | (4) 地域住民の健康づくりへの支援 |
| (5) 青少年の健全育成への支援 | (6) 災害時の支援 |
| (7) その他(具体的に |) |

問18 今後、地域福祉を推進するために、富山市が取り組むべき施策として、何を優先して取り組むべきだと思えますか。(〇は3つまで)

- | | |
|--|---|
| (1) ボランティアなどの地域活動への参加促進や人材育成などの活動支援 | |
| (2) 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援(住民同士や行政との協力・連絡など、助け合う組織) | |
| (3) 身近なところでの相談窓口の充実 | |
| (4) 高齢者や障害者等になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実 | |
| (5) 保健福祉に関する情報提供や案内の充実 | |
| (6) 健康増進・維持のための相談や訪問指導などサービスの充実 | |
| (7) 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実 | |
| (8) サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取り組み | |
| (9) 高齢者、障害者、児童の福祉施設の整備 | |
| (10) ひきこもりやヤングケアラー等の複雑・複合的な問題を抱える方々への支援 | |
| (11) 生活困窮者支援の充実 | |
| (12) 防犯・交通安全・防災体制の強化 | |
| (13) 行政・関係機関や団体・住民組織等とのネットワークの強化 | |
| (14) 福祉教育の充実 | |
| (15) その他(具体的に |) |

問19 市の保健や福祉に関する情報を、どのような方法で入手していますか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| (1) 市の広報誌 | (2) 地区センターなど施設の掲示板やパンフレット |
| (3) 町内会の回覧板 | (4) 新聞、テレビ、ラジオなど |
| (5) 地域情報誌 | (6) インターネットのホームページやSNS |
| (7) その他(具体的に |) |

問20 あなたは、「ヤングケアラー」についてご存知ですか。(○は1つ)

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことで、負担の重さにより学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあるとされています。

- (1) 聞いたことがあり、内容も知っている
- (2) 聞いたことはあるが、よく知らない
- (3) 聞いたこともない

問21 あなたは、「成年後見制度」についてご存知ですか。(○は1つ)

※成年後見制度とは、認知症や知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の日常生活を成年後見人等が支援する制度です。成年後見人等は、財産管理や契約の代理などを行うことで、本人の権利を保護します。

- (1) 制度の名称は知っているし、内容も知っている
- (2) 制度の名称は知っているが、内容は知らない
- (3) 制度の名称も知らない

問22 あなたは、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

- (1) 利用したいと思う
- (2) 利用したいとは思わない
- (3) わからない

問22-1 問22で「(2) 利用したいとは思わない」または「(3) わからない」と答えた方にお聞きします。

その理由は何ですか。(○は1つ)

- (1) 制度の内容や利用方法がよくわからない
- (2) 制度を利用するための手続きが複雑そうである
- (3) 他人に財産を管理されることに抵抗がある
- (4) 利用するために費用(経済的負担)がかかる
- (5) 制度自体によいイメージがない
- (6) 必要性がわからない
- (7) その他(具体的に)
- (8) 特に理由はない

問23 あなたは、再犯防止に関する広報・啓発活動の取り組みである「社会を明るくする運動」という言葉や内容をご存知ですか。(○は1つ)

※再犯防止とは、犯罪をした人が立ち直り、再犯しないようにすることです。

※「社会を明るくする運動」とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

- | |
|-----------------------|
| (1) 知っている |
| (2) 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| (3) 知らない |

問24 非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) 就労への支援 | (2) 住居確保の支援 |
| (3) 保健医療・福祉サービスの利用促進 | (4) 就学への支援 |
| (5) 個々の特性に応じた支援 | (6) 保護司など民間協力者への活動支援 |
| (7) 地域における理解 | (8) その他 () |
| (9) 特に必要はない | |

※保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間ボランティアです。

問25 非行や犯罪をした人の立ち直りにどのような協力をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| (1) 雇用したり、一緒に働く環境をつくる | (2) 直接会って継続的助言や援助をする |
| (3) 「社会を明るくする運動」に参加する | (4) 更生保護施設等に金品を寄附する |
| (5) 犯罪や非行を防止する団体に加入する | (6) その他 () |
| (7) 特にない | |

※更生保護施設は、出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設です。

問26 現在のあなたの「幸せ度」を「とても不幸せ（0点）」から「とても幸せ（5点）」までの段階で表すと何点になりますか。該当する点数に○を付けてください。

	とても不幸せ	⇒	⇒	⇒	⇒	とても幸せ
幸せ度	0	1	2	3	4	5

問27 問26と同様に、次の4つの項目について、0点から5点までで表すと何点になりますか。それぞれ該当する点数に○を付けてください。

	とても暮らしにくい	⇒	⇒	⇒	⇒	とても暮らしやすい
①暮らしやすさ	0	1	2	3	4	5

	とても愛着を持ってない	⇒	⇒	⇒	⇒	とても愛着を持てる
②地域への愛着度	0	1	2	3	4	5

	とても実感できない	⇒	⇒	⇒	⇒	とても実感できる
③支え合いの実感	0	1	2	3	4	5

	とても不足している	⇒	⇒	⇒	⇒	とても充足している
④福祉サービスの充足度	0	1	2	3	4	5

問28 地域のみんで支え合うまちづくりをどのように進めていったらよいか、また、どのような制度やサービスが必要と思われるかなど、あなたのご意見・ご要望などを自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
令和5年7月18日（火）までにご投函ください。